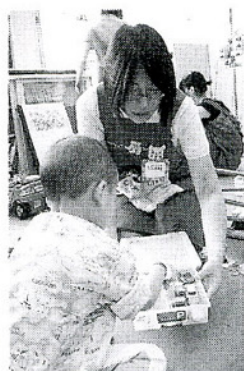


# 病院の子どもに遊び届けて15年

## 「ガラガラドン」 記念フォーラム開催

病院の子どもたちに遊びを届けるボランティア「ガラガラドン」(東京都)が発足15年をむかえた。活動の原動力は、つらい治療に耐える子どもたちの笑顔だった。16日に都内で記念フォーラムが開かれる。



ミニカー遊びに夢中になる男の子＝東京都新宿区で

病院で療養する子どもたちを支援していた坂上和子さん(52)ら6人が、91年につ

区にある国立国際医療センターにある国立国際医療セン

ターを毎週土曜、約10人が交代で訪問し、子どもたちにタンバリンなどの楽器、絵本、パズル、ブロックなどをを使った遊びを楽しんでもらう。歩けない子のためにベッドサイドでも活動する。病状に依り、平日に個別に訪問することもある。

白血病の女の子(2)の母親は「入院してからほとんど笑顔を見せなかった娘が声を出して笑うようになった」。悪性リンパ腫で昨年11月に亡くなった女の子

(当時8)は「ボランティアのアン・ブレイキーハート氏の講演、医師らによる討論など。午後6時からは交流会も。一般2千円(当日2500円)、学生は無料。先着250人。事前申し込みは12日までに名前、所属、電話、ファクス番号、メールアドレス、交流会(3千円)への参加の有無を書いて、東洋英和女学院大の金森研究室(ファクス045・9222・2260 またはメール kanamori@toyoeiwa.ac.jp)へ」。